

◆ 昭和31年度

- ・第1回関東中学校保健体育協議会が東京で開かれ参加する。

◆ 昭和32年度

- ・本連盟機関誌「中体連のあゆみ」を創刊する。
- ・スケート部が第1回県大会を榛名湖で実施する。

◆ 昭和33年度

- ・生徒減、補助金減で止むを得ず各大会負担金を徴収する。(1チームの場合200円～300円、個人一人20円とする。)
- ・スケート大会 本年度中止になる。
- ・研究部で「中学校体育運営上の諸問題」に関する調査をする。

◆ 昭和34年度

- ・運動部にサッカー部、剣道部を新設する。剣道部が第1回大会を前橋市立女子高校の体育館で実施する。

◆ 昭和35年度

- ・本連盟第3代会長に宮崎 要校長(大胡中)が就任する。
- ・スキー、スケート部が独立の競技部としてスタートする。
- ・サッカー部が第1回大会(県営陸上競技場内)を開催する。5チーム(校)参加
- ・水泳地区予選はじまる。庭球大会を学校対抗にする。

◆ 昭和36年度

- ・県下中学校大会は特例(水泳・陸上)を除いて、年一回とする。中体連としては新人大会は実施しない。
- ・スケート大会をはじめて学校対抗として実施する。

◆ 昭和37年度

- ・本連盟第4代会長に篠原秀男校長(前橋一中)が就任する。
- ・負担金生徒一人、5円に値上げをする。
- ・運動部にすもう部を新設する。すもう講習会(桐生市)を実施する。
- ・本年度から、県中体連として国体視察員を派遣する。
- ・県大会参加選手に参加賞を出す。

◆ 昭和38年度

- ・県中体連強化委員会を発足する。
- ・県資金財団から補助を受け、県中体連強化合宿(8種目実施)を始める。
- ・レプリカを作製し、優勝校へ配付する。

◆ 昭和39年度

- ・第9回関東中体連保健体育研究協議会群馬大会を高崎市(1日目)・伊香保町(2日目)で開催する。
- ・県資金財団から補助を受け、強化合宿を9種目で実施する。
- ・生徒減による予算面の課題が出てくる。
- ・群馬県中学校保健体育研究会の設立にともない、研究部を本連盟規約から削除する。
- ・関東中体連協議会理事会を伊香保町で開催する。

◆ 昭和40年度

- ・県中体連旗を作製する。
- ・県教育委員会へ補助金の増額陳情をする。
- ・予算項目に調査研究費を新設する。
- ・関東地区水泳教室を7月28日～30日に県水泳場で開催する。
- ・ジュニア強化合宿を夏季休業中に6種目で実施する。